

身体障害のリハビリテーション 3分野合同研修会（実技編）



令和元年 12月1日（日） 9:40~16:30（受付開始 9:00~）

体験型学習を通して、明日から使える技術を身につけましょう！

- 会場：総合病院回生病院 新館5階講堂（〒762-0007 香川県坂出市室町3-5-28）
- 研修内容：午前の部では、骨折や外傷治療の観点から手指～肘・前腕までの触診と運動療法について学びます。午後の部では、中枢神経疾患の麻痺側肩甲帯や肩関節への介入方法の要点、高齢者の体幹・骨盤帯機能に着目したシーティング技法について学び、実技を中心とした体験型学習を通して明日から使える臨床技術を身につけることを目的とします。
- 講師：福田 靖（愛媛十全医療学院，作業療法士：四国ハンドセラピィ研究会 会長）
石井誠二（総合病院回生病院，作業療法士：四国ハンドセラピィ研究会 事務局）
藤本 弾（総合病院回生病院，作業療法士：四国環境適応講習会 講師）
土居道康（南松山病院，作業療法士：四国シーティング研究会 代表）
- 受講費：8,000円（テキスト代を含む）
- 定員：100名（先着順）※定員に達し次第締め切らせていただきます

9:50

10:50

ハンドセラピィ【 手指・手関節の触診と運動療法 】

臨床で必要な手関節の触診，並びに拘縮手に対するアプローチについて，解剖学的特徴を理解しながら実技を行います。症例の手指の持ち方やその意味など，基本的な内容から実施します。

11:00

12:00

ハンドセラピィ【 肘関節・前腕の触診と運動療法 】

セルフケアなど日常生活上問題となることの多い肘関節の屈曲障害や前腕の回旋運動障害について，拘縮の原因や解剖学的特徴を理解しながら，触診と併せて正しい動かし方の実技を行います。

お昼休み

13:00

14:00

ニューロリハ【 肩関節・肩甲帯の機能と介入方法 】

肩甲帯はバランスに寄与しており，末梢部が機能的に活動するためにも動的な安定性が必要となる。ここでは，肩甲帯・肩関節の機能解剖をベースに各関節の動かし方，促通方法を実技を通して体験していく。

14:10

15:10

シーティング【 体幹・骨盤帯の機能とシーティング 】

日常生活において，食事・トイレなど座位機能を必要とする動作は数多くある。今回，骨盤機能から座位機能・ADLへの影響に対して，デモンストレーションを中心に実践していく。

15:30

16:30

Q & A 講座【 復習と臨床トラブルシューティング 】

それまでの実技や講義の中でもう一度教えてほしいことや事前に受講者からご回答いただいた疑問点，日頃の臨床でお困りの点について，各講師が講義の復習とアドバイスを含めて呈示いたします。

お申込み・お問合せ先 右記 QR コードからもお申込み可能です

<http://3plus-rehabilitation.jimdo.com>

